

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年（2022年）3月7日

事業所名 草笛学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	0	・発達課題別活動のグループ数によって部屋を区切って利用するなどの工夫をしている	
	② 職員の配置数は適切であるか	10	4	・退職で人数が減ったが、活動内容の変更や安全確保をおこないながら取り組んだ。 ・不足だと感じることもあるが、臨機応変に職員配置を考え、状況にあったことをして対応している。	・基準配置ではあるが、年度途中からの退職者があり、職員が減ったことでの負担が大きかった。 ・事前の人材確保、体制整備に努めていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1	・適切な大きさの机椅子や、個々のマーク（視覚的てがかり）の用意をしている。 ・子どもたちの動きを全体で確認し危険箇所を把握し対応している。	・引き続き、衛生面に配慮し、環境整備をおこなっていく。 ・子どもたちの分かりやすさや活動の導線など、配慮や工夫をしていく。
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	・掃除や修理は、適宜、行っている。 ・コロナ感染防止のため、毎日消毒をおこなっている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	0	・会議で、起案や反省をし、全体共有をしている。	・引き続き、毎月の職員会議、年度末の会議を通して、園の在り方、活動内容の検討をしていく。また、評価表を用いて保護者への意向を確認し、現状の見直しをし、次年度への取り組みに活かすようにしていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	・保護者向けの評価表について職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	0		・多くの視点で、評価いただき、自己評価で振り返ることで、よりより支援になっていければと考えている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	7	・わからない	・第三者評価制度はあるが、導入はしていない。今後の検討課題である。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	・今年度は、コロナ禍で、研修機会は減ったが、オンラインで参加できる研修はできる限り受講するようにした ・毎月、園内研修日が設定され、できている。	・職員研修日が定期的に確保できたので、来年度も引き続き有効に使って行く。
支援切 のな	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成し	14	0	・個別支援計画に基づいた支援が行えているかを再確認する必要がある。	・地域支援の支援については、今後、検討していく。 ・子どもの状態に応じて計画の見直しをおこなっていく。

	ているか				
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	1		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0		・児童発達支援ガイドラインを念頭におき、アセスメントや支援経過など職員間での共有をおこなっていく。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	・クラス会議等で複数の視点で、現状の確認をしている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	1	・各種会議にて、活動の振り返りをし、新たな設定をおこなっている。 ・子どもの状況によっては、同じ活動をじっくりと繰り返すこともある。	・活動の立案をするにあたっては、活動のねらいや意図を職員間で共有したうえで行っていく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・グループ活動の良さや意義を感じている。	・取り組みのねらいや意義を引き続き、確認し、取り組みに続けていく。 ・個別活動については計画的に取り組めるようにしていく。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	3	・ねらいや注意点を確認している。 ・忙しい時や職員体制が少ないときなどは不十分だが、全体での取り組みを行なうときには、毎日実施するようにしている。	・引き続き、日々の振り返りは、限られた時間（終礼など）の中で、共有すべき点について実施していく。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、気付いた点等を共有しているか	11	3	・会議や日々の休憩などの合間に、振り返っている。 ・時間が取れない日もあるが、大事なことを伝えあう意識はしている。	・より詳細については、各種の会議を通して、子どもの評価・取り組み・支援の内容を検討し、支援につなげていく。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	1	・記録をとる時間を設定している	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	1	・定期的に会議を行ない、計画の見直しをしている。	
や関係者保護者関係	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	0	・担当が参加している。内容については、記録の回覧、報告等で職員間で共有するようにしている。	

	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか	13	1		
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	8		<ul style="list-style-type: none"> 個々に必要な医療的ケアの状況把握やできる対応など、具体的な連携を取っていくようにする。 また、地域の現状や課題に対しては、情報収集・共有に努める。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	5		
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	1		<ul style="list-style-type: none"> 小学校への入学、保育所への入所にあたっては、支援の継続性を考える上で、情報提供が必須である。よりよい環境づくり、支援になるように具体的な連携方法を一律化し実施していく。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画や計画に対しての評価、今後の課題など、情報提供をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 入園にあたっては、母子保健・児童発達支援事業所などからの引継ぎを受け、適切な支援につなげていく。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、あまりできていない。回数は少ないが、オンラインでの研修を行なった。 	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	14	<ul style="list-style-type: none"> できていない。 近くに保育所があるので、交流できるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナの状況が落ち着いてきたら、近隣の保育所との交流を行なっていきたい。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	4	<ul style="list-style-type: none"> 担当者が参加している 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での連携や必要な支援のあり方について、検討や協力を引き続き行なっていく。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、オンラインで研修会を行なった。 子どもの状況については、懇談やおたより等でお伝えし、共通理解を持てるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者支援は子どもを支援すると同様に大切な事柄です。懇談や親子教室、研修会を通して、保護者の支援につなげている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	6	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムを意識して行ってはいない。 懇談やおたよりで、関わり方など一緒に考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムの実施については、今後の検討としていく。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	1		<ul style="list-style-type: none"> 運営規定については入園説明会でお伝えしている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や懇談で説明を行っているが、今年度はコロナ禍のため時間を短縮しての実施となり十分には行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため保護者会で伝えられなかったことなど、動画配信を使ってお伝えしている。 わかりやすく、丁寧な説明を努めていく。

	支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか				
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため顔を合わせて相談を受けることは不十分だったが、相談があった場合は、その都度、連絡帳やおたより、電話などで対応している。 ・相談に即対応できないときには、他の職員と協議しながら、伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いや悩みを聞いたり話したりする機会（懇談・親子教室など）を定期的に設けている。 ・引き続き、その時々様子によって、時間を設けたり、電話でのやりとりをしたりすることで、よりタイムリーに対応をしたいと思う。 ・保護者が安心してお子さんを預けられるように、努力をしていく。
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・体制はあるが、今年度は、難しい状況だった。 	
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日程や場所を設定して対応している。 ・職員間で情報共有するようにしている。 	
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行事予定、必要に応じて事務連絡を発行し、子どもの活動、様子等については、隔週でおたより毎週個別へのおたよりを発行している 	
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	14	0		<ul style="list-style-type: none"> ・情報の管理の徹底していく。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0		
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域へは、新聞を発行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・招待する行事は難しいので、子どもの散歩や課外活動での積極的な近隣の方々とのかわりや、新聞発行による周知などを行なう。 ・地域貢献活動の相談窓口として機能が発揮できるように啓発していく。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	0		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全を守るための必要な対応については、マニュアルを元に、職員が共有対応できることが必要である。そのための危機管理、訓練を引き続き行っていく。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は毎月実施している。その他に土砂崩れを想定した避難訓練をおこなった。 ・地震、防犯への訓練も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や防犯などに対する想定を常に意識していく必要がある。マニュアルの見直しも行なっていく。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0		

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	・入園時に指示書の提出をお願いし、対応をしている。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	・ヒヤリハット案件が発生した場合は、職員間で状況把握、今後の対応について考えるようにしている。	・引き続き、ヒヤリハット事項の共有をし、職員全体の意識を高めていく。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0	・虐待防止ハンドブックを利用している。	・引き続き、研修機会を設けるとともに、学習会などでも、取り入れていく。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	4	・身体拘束はしていないと思うが、必要に応じて施錠や散歩など園外へ出るときには安全を守るため手をつなぐことなどは考えられる。 ・計画には記載していないが、必要な場面においては職員間の共有や保護者への説明をしている。	・身体を押さえる、移動を室内に制限するなど身体拘束のとらえ方を明確にし、必要なことは検討、明文化する必要がある。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年（2022年）3月 7日

事業所名 草笛学園 保護者等数（児童数）48名 回収数48名 割合100%

	チェック項目	はい	どちら		いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			ともい えない	え				
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	47	1				<ul style="list-style-type: none"> 運動できる園庭が広くて良い。 狭すぎず広すぎずでよい。 遊具があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースはある程度の空間が確保されています。活動によって、部屋の使い方を工夫しています。 園庭にすべり台、や総合遊具を設置しました。活動スペースなど確保しながら子どもたちの成長を促していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	36	6	2	3		<ul style="list-style-type: none"> フリーの先生がいたら、子どもへ目が行きとどきやすい。 職員の急な休みなどに備えてもう少し職員配置があるとよい。 今年度、昨年度と退職職員があり、他の先生の負担が大きいのではと心配。 先生方も無理なく子どもたちと関われる体制になってほしい。 クラス担任以外の職員（栄養士や相談支援専門員など）も子どもに関わってくれ、うれしい。 丁寧に対応してもらい、安心して 	<ul style="list-style-type: none"> 制度上の配置人数の基準は満たしています。 年度途中で職員が退職したことで保護者には心配を募らせてしまいました。主任、パート職員1名はフリーとして配置し、適材適所で支援をしています。 引き続き心配のないように人材確保をおこない、子どもたちが安心して過ごせるように努めていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	46	1		1		<ul style="list-style-type: none"> 入園当初は、教室から見える園庭を利用してあそびができ、見通しが持てるように子どものことを一番に考えられている。 トイレ、ロッカー、くつ箱など子どもが使いやすいようになっていて、明るく開放的で過ごしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにとって、分かりやすい、生活しやすい工夫と配慮をおこなっていきます。 コロナ対策としても、引き続き換気、消毒に取り組んでいきます
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	47	1				<ul style="list-style-type: none"> いつも、きれいにしてある。 我が子は汚してしまうので、先生方は大変だろうと思い感謝です。 トイレがスムーズに行ける。 鍵などの工夫がある。 手洗い場など水浸しになりすべりやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生面の配慮、設備等の点検、修繕などをおこない、子どもたちが、安心、安全に過ごせるようにしています。
適切な 支援の 提	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	48					<ul style="list-style-type: none"> 子どもの今の様子に対応したもので、具体的でわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの発達・特性を考慮し、個の状況をクラス職員で共有しながら基本的な生活習慣の力や人との関わり、運動、コミュニケーション、行動調整などの向上を
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発	45				3	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ、できることが増えてきている。 具体的な子どもへの支援も示さ 	

	達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						れているので、様子もよく分かり、親も取り組みやすい。 ・親の目では気づかない視点で、子どものあった支援計画が組み立てられており、それについての説明もあるので、納得です。	ねらっています。 このことが、ガイドラインに記されている項目です。個別支援計画については、具体的に目標を立て、会議等で経過の確認や目標の見直しをおこなっています。 活動プログラムは継続的な取り組みの中で、子どもたちの力になっていくものもあれば、段階的に内容や関わりを変えて取り組むものもあります。その都度見直しを行いながら、個々に必要な支援の中身や関わりを考えて取り組んでいきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	46				2	・それ以上のことをしてもらっている。	
	⑧ 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	46				2	・ステップアップできるようにいろいろと考えて対応してもらっている。 ・できてくると新しい取り組みになり、子どもの様子に合わせてもらっている。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	28	16		・コロナ禍で難しいと思う。 ・少しずつ、やってほしい。 ・他の保育所などの子どもと遊ぶ行事があるとよい。	・保育所、幼稚園などの子どもたちと関わる機会を持っていません。コロナの状況を見ながら、実施に向けて考えていこうと思います。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	47				1		・運営については入園説明会でお伝えしています。 ・コロナ禍で保護者総会でお伝え出来なかったことなど、動画配信を使ってお伝えさせてもらいました。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	47				1	・職員の人数や時間がかぎられているが、日ごろの様子などゆっくり話せる場があればよい。	・ガイドラインと照らし合わせての説明はできていません。支援計画については、家庭訪問や懇談などで支援内容の説明をおこなっています。今後、示し方を検討していきます。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング iv 等）が行われているか	35	4	1	8		・親子教室がこれに該当するなら○です。	・プログラムとしてのトレーニングは行なっていません ・保護者支援として親子教室、懇談、研修会を実施しています。 ・支援プログラムの実施は検討していきます。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	44	3					・おたよりは日々のことも少しだが記載してあるし、週末の個別のおたよりは、内容がたっぷり書かれ、夫婦で読み返している。 ・おたよりで教えてもらえるのをいつも楽しみにしている。

						<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で直接見たり聞いたりではできなかったけど、何かあればすぐに教えてもらえた。 	<p>を合わせて話す機会が例年より減っているのが現状ですが、クラスの職員に限らず、どの職員にでも声をかけてもらえたらと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のおたより帳に関しては、その日の様子をお伝えすることが不十分ではあるかと思いますが、子どもたちに関わる時間を優先させてもらっているためご理解いただけたらと思います。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	45	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもお便りで返してもらって、感謝。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の親子教室や懇談をおこなっています。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33	9	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響があった。 ・コロナが落ちついたらしてほしい。(増えてほしい) ・去年より行事はできたが、今まで通りにはいかず残念。 ・オンライン上での交流があれば良い。 ・いろんな保護者とも話ができるので、とても勉強になるし、心強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、保護者全体での集まりはできませんでした。コロナ禍が続くようであれば、保護者同士が繋かれる形を考えていきたいです。
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	46	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しくされているので、なかなか、ゆっくり相談できないときもあり、不安も感じる。 ・連絡帳や電話など、相談や聞きたいことにすぐに対応してもらっている。 ・電話での相談や面談を希望したりした際は、すぐに対応してもらい、丁寧に聞き取ってもらい、安心感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、必要に応じて、電話や面談で対応していきたいと思います。 ・子どもたちの成長には、家族の力が大切です。一緒に子どもたちを見ていけるように、工夫や配慮をしています。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	46	2			<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか、できていない。 ・情報にタイムラグがある。 	
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	46	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの様子が知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報は、各おたよりを通じて行っています。今年度もコロナ禍で行事の変更や中止があり、子どもたちの様子を知る機会が減ってしまいました。定期的にホームページに載せるなど、子どもたちの様子が知れるような工夫をしていきたいと思っています。
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	45	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・メール連絡で宛先がBCCになっていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の扱いは重要かつ慎重なこ

		れているか					<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページなど写真使用は事前に確認をしてもらえた。 ・行事のDVDの貸し出しに加え、販売をしてもらえるとうれしい。 	とです。管理、共有の徹底に努めます
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	42	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯マニュアルはあるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルは所定の位置に閲覧できるように設置しています。 ・防犯マニュアルは、不審者対応マニュアルとして作成しています。 ・感染症の罹患状況や対処方法については、必要に応じておたよりでお知らせいたします。 ・非常災害発生に備えて、毎月の避難訓練をおこなうとともに保護者への緊急メールの確認も行なっています。 ・今年度は土砂災害の訓練も実施しました。多様な状況に応じた訓練を実施していきたいと思っております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	44	3		1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	45	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、多くの経験をさせてもらって、楽しそう。 ・登園することを伝えると、おもちゃを置いて、カバンをもち、ことばはないが、ルンルンで車に乗り込む姿がある。 ・休みの日はがっかりしている。 ・生き生きした表情は親としてとてもうれしい。 ・行けばとても楽しそうにしているが、バスに乗る時だけ嫌がる。 ・毎日、「かえろ、おうちかえろ」と言っているので、早く楽しみが見つかるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもたちが“行きたい”“楽しみ”と思えるような、園生活が送れるように、活動の工夫や、分かりやすさを作り取り組んでいきたいと思っております。 ・子どもたちが楽しんでいる様子、頑張っている様子は、おたよりやホームページで伝えていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	48				<ul style="list-style-type: none"> ・我が子の特性をしっかりと理解して接してもらっている。 ・子どもの発達に応じて、専門の先生に支援してもらっている。 ・いつも子どもに寄り添い、あたたかく接してもらっている。 ・入園して半年だが、子どもの成長をたくさん感じられる。 ・こどもが生き生きしている。 ・親の不安や少しのことばにも気づいて連絡をもらったり、子どもの成長をみて、通えてよかった。 ・子どもだけでなく、親にも寄り添って関わってもらい感謝。 	

- ・ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。